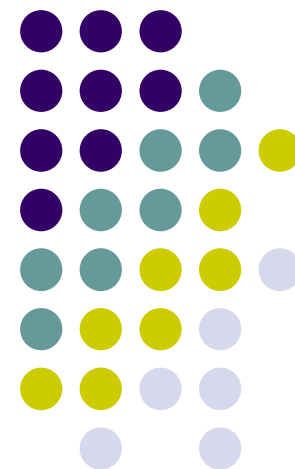


第10回 JavaScriptゼミ

7 - 3 イメージマップとAreaオブジェクト

発表日 : 06/12/15 発表者 : 鈴木朋央





イメージマップの記述

- イメージマップとは
 - イメージの一部をリンクとして設定する機能

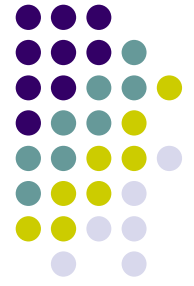
<map>タグと <area>タグの書式

```
<map name="マップ名">
```

```
  <area shape="形状" coords="座標" href="URL"  
        alt="代替文字列">
```

```
  ...
```

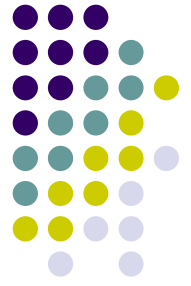
```
</map>
```



<area>タグ

- リンクとして使用する「形状」「座標」「リンク先」を指定
 - 領域が重なる場合には先に指定した領域が優先される
 - 「形状」はrect, circle, polygon, default(全体)の那珂から選択する
-
- shape="rect" 左上の座標: X1,Y1 右下の座標: X2,Y2
 - shape="rect" coords="X1,Y1,X2,Y2"
 - shape="circle" 中心の座標(X,Y) 半径R
 - shape="circle" coords="X,Y,R"
 - shape="polygon" 多角形の頂点の座標(X1,Y1)・・・(Xn,Yn)
 - shape="polygon" coords="X1,Y1,X2,Y2,.....,Xn,Yn"

JavaScriptによるイメージマップのアクセス



- JavaScriptでは、イメージマップをAreaオブジェクトとして管理
- アクセスするにはlinks配列を使用
 - document.links[0] 1つめのAreaオブジェクト
 - document.links[1] 2つめのAreaオブジェクト
- * ただし、linkオブジェクトと混在する可能性があるため、アクセスするには配列の要素に注意すること
- <area>タグのnameアトリビュートで指定した名前でのアクセスは不可能

Areaオブジェクトのイベントハンドラ



イベントハンドラ

呼び出されるタイミング

onmouseout

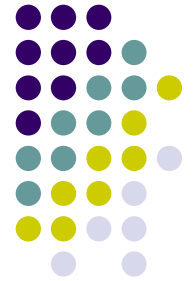
領域の外にマウスが出たとき

onmouseover

領域の中にマウスが入ったとき

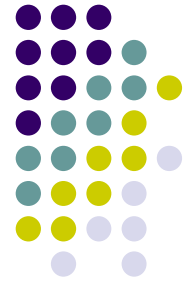
onclick

マウスをクリックしたとき



Areaオブジェクトのプロパティ

プロパティ	説明
hash	URLのアンカー部分(# で始まる部分)
host	URLのホストネームとポート番号の部分
hostname	URLのホスト名の部分
href	URLすべて
pathname	URLのパス名の部分
port	URLのポート番号の部分
protocol	URLのプロトコルの部分
search	URLの検索を指定する部分(? で始まる部分)
target	リンク先のURLを表示するウィンドウの設定。デフォルトで <a href>タグのtargetアトリビュートの値



練習問題

- 付録(2番目)のサンプルプログラムに以下の修正を加えなさい
 - リンク部分をクリックしたときにconfirmでの確認メッセージを表示するようにしなさい